

2023年12月26日

弘前大学学長 福田眞作様

弘前大学職員組合  
執行委員長 長谷河亜希子

## 業務・労働環境改善に関する要望書(1) 出張・兼業について

職員組合では、2023年7月～8月にかけて、文京キャンパスに勤務する教員に対しアンケート調査を行い、大学に改善を求めたい雇用条件や職務内容等について意見を聞きました。アンケート結果に基づき、下記のとおり要望致します。

現状、学部によっては、若手教員が3年も経たずに他大学に次々と移っていくという状況にあり、弘前大学に残るという選択をした教員が疲弊しきっています。弘前大学は、本州最北端の豪雪地帯に位置する地方国立大学で、給与も低いという点のみを取り出してみても、人材獲得競争において大変不利な立場に置かれています。それに加えて、研究時間は減少傾向にあり、教育・地域貢献等の負担は重くなる一方、在外研究のチャンスもない等々の状況が積み重なり、若手・中堅の心中では、今後に関して強い不安と不満が積み重なっています。今回のアンケートでは、教員たちから、弘前大学が長く勤務したいと思う大学となることを願って、様々な意見が寄せられました。なお、今回、多数の要望を提出しておりますが、その点との関係で学長説明会を久々に開催してほしいとの意見も多数あったことを付け加えさせていただきます。

項目が多く申し訳ありませんが、回答できる項目から随時、文書で回答をお願いします。

### 出張・兼業に関して、事務効率化を図ってください

#### ① 兼業に関して、当局から分かりやすい情報発信をしてほしい

兼業に関してのルールがよく分からないという声が多数寄せられました。なお、現状、学部によって、兼業の範囲、取り扱いに違いがあることに加え、下記のような要望、問題があります。

#### ② 「公務」の範囲を広げてほしい

他大学に比べて狭いとの意見が多数ありました。また、部署によって運用が異なっているようです。

- 土日に係る科研費や公費による出張(研究会・学会参加のための出張など)、大学・学部主催の公開講座等への出席は、通常公務として認められているはずですが、運用実態もそのようになっているか、今一度、各部署で確認願います。
- 休日の大学・学部主催の公開講座に出席しなければならない場合、一人で子育てしていると、別途子供見守りのための費用が必要となるが、現状自己負担であり、この点を改善してほしいとの声がありました。これは、他の公務(入試や広報での出張など)の場合にも、同様の問題が生じる可能性があると思われます。

以上